



櫻 KEYAKI

第 17 号
2019. 10. 29
発行

初めての学習発表会。 一日中、心が震えました！その3

学習発表会の感想も、今号で最後にしたいと思います。
今号は午後からの「合唱発表会」の感想です。

学習発表会の最後の講評でも話しましたが、「合唱発表会」は感動しました。「感動」の一言でした。

各学級での練習の時から、何度か教室に足を運んで練習の様子を見せてもらっていましたが、「今年の子供たちは、例年以上に声がよく出ているなあ」と感じていました。クラスごとに「みんなで頑張るぞ！」という意気込みも感じられました。そのため、当日にはきっと素晴らしい歌声が体育館にこだまするだろうと予想していました。



そして本番。3年B組の合唱から始まりましたが、どのクラスも本当によく頑張ったし、出来栄もよかったと思います。私も審査員の一人として採点しましたが、大きな差はつけませんでした。というより、差はつけにくかったです。それくらいレベルが高かったと思います。

講評で話した通り、みなさんの発表の途中、2、3度涙が出ました。手で流れそうになる涙をぬぐいましたが、その私の様子を、歌いながら気づいていた人もいたかもしれません。涙もろい私は、よく卒業式で涙がこぼれるのですが、今回の合唱発表は、まるで卒業式のような感動でした。



音楽のことが専門的にはよくわかっていませんが、歌声に心がこもっていたからこそその感動だったと思います。みなさんの一生懸命な思い、仲間と力を合わせようとする思いが、聴いている者の心を震わせたのだと思います。そして、一生懸命に歌う姿、指揮者を見つめる輝く瞳に心が震えました。

素敵な時間でした。幸せをいっぱい感じた時間でした。みなさんを誇りに思いました。素晴らしい感動をありがとう！

最後に、いつも言うことですが、当日一緒に舞台にあがれなかった仲間もいます。きっとその仲間のことも思いながらの合唱だったと思います。また、中にはうまく歌えなかったと悔やんでいる人もいるかもしれませんが、学校生活はこれからまだまだ続きます。頑張れる場面、みんなで力を合わす場面はまだあります。



後期生徒会のスローガンでもある「TRY（トライ）」の精神で、失敗を恐れずチャレンジしていきましょう。みなさんは可能性のかたまりです。自分、そして周りの仲間にも期待して、笑顔で頑張ってください！

11月1日(金)は 小中高一貫教育研究発表会です！

第17回「能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 研究発表会」を、11月1日(金)に本校を会場にして開催します。すでに案内は各家庭に配布していますが、本校が会場でもありますので、この機会に保護者の方々にも多く参観していただければ幸いです。

当日は公開授業に加えて、午前中には能勢高校・豊中高校能勢分校のSGH中間発表とドイツの視察報告もあります。これは、中3生も参加して発表や報告を聞きます。また、公開授業に加えて、展示発信等もあります。その後は公開授業をもとに研究協議の時間もあり、興味があれば保護者の方々にも参加いただくことができます。

今年度も実りある発表会になるよう、生徒のみなさんと教職員とで力を合わせて頑張りたいと思います。再度当日の内容を簡単に記しておきます。

【第1部】

10:20~12:00 SGH中間発表・ドイツ視察報告(第1体育館)

[能勢高校・豊中高校能勢分校] 発表・報告予定生徒(敬称略)

3年次生: 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

2年次生: 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

【第2部】

13:30~14:20 公開授業

- 体育 [小6-2] (第2体育館)
- 総合 [小3-1 & 高3] (3-1教室)
- 国語・古典 [中2-A & 高2] (2-A教室)
- 外国語活動 [小4-2 & 中3-B & 高2] (多目的室)



※総会・展示発信(第1体育館)

15:10~16:40 研究協議(各教室)